

平成 30 年 2 月 23 日

静岡県清水港湾交流センター等指定管理者
日の出ドリームパーク 平成 29 年度年間評価結果

静岡県清水港湾交流センター等指定管理者評価委員会
会長 関 いずみ

以下のとおり年間評価を報告する。

- 1 対象施設 日の出駐車場、日の出緑地及び遊歩道、待合所、港湾関連団体用業務室、静岡県清水港湾交流センター
- 2 評価期間 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月（実績見込みを含む）
- 3 評価日 平成 30 年 2 月 16 日（金）
- 4 評価委員

氏 名	役 職 等
和泉 清明	いずみ公認会計士事務所
河村 節子	静岡商工会議所女性会
◎関 いずみ	東海大学海洋学部海洋文明学科教授
中野 民雄	静岡文化芸術大学デザイン学部准教授
村松 正章	静岡市経済局商工部港湾担当部長

（敬称略、五十音順、◎：委員長）

5 評 価

（1）意見抜粋

- 「地域の人」と「（外国人観光客を含む）外からの客」が共に楽しめるようなイベントを企画して欲しい
- 施設の維持に関しては、指定管理者の努力が見られ、評価できる
- 増加する外国人観光客への対応方法を再考して欲しい
- 外国客船寄港時における、外国人への「おもてなし」を客船誘致委員会と連携し、より一層推進して欲しい
- 自然災害（地震・台風等）における外国人への案内を充実させて欲しい

（2）評 定

評 価		点 数
優	おおいに評価できる	133.8 点 / 150 点満点 (得点率 : 89.2%)

6 項目別意見（抜粋）

総括評価

- マリンターミナルの利用は、年々増加しているように見受けられる。ますますの企画力を発揮していただきたい
- 必要なものについては、早めに予算付けなどして対応して欲しい
- 県と協議のうえ、外国語表記（多言語）を進めて欲しい
- 外国客船寄港時における外国人への「おもてなし」を客船誘致委員会と連携し、一層推進して欲しい

I 本業務の実施体制

- 人材が豊富で、適材適所である
- 人員配置は適正と思われる
- 情報共有についても十分実現されていると思う
- 事業体制は適切である
- 今後、施設の老朽化に対する更新が増加していくことが予想されるため、適切な年度の更新計画を考えて提案して欲しい

II イベント等の実施

- 利用実績の増加に伴う増収について評価できると思う
- 更なる増収を狙い、利用しやすい施設（ソフトウェア整備）運営を行ってほしい
- 様々な企画・イベントの誘致が実現している
- そこに行けば何か楽しいことがあると思わせるような仕掛け（イルミネーションなど）を継続して欲しい
- 昨年度よりも、積極的にイベントが開催されている点は、高評価である
- イベントの開催・誘致については、継続して頑張っているところが評価できる

III 利用促進策

- 西伊豆との連携が強化されることを期待する
- 誘致方法の検討を積極的に改善して欲しい（例えば、イベント動画や写真等のYouTubeやHPへのアップ等）《「受動」から「能動」への転換》

IV 利用者ニーズの把握とフィードバック

- アンケートの実施・運営へのフィードバックについては、評価される
- 今後更なる外国人観光客の増加が予想されるため、次年度以降の対応方法を考えて欲しい

V 安全管理

- 今後も無事故が継続するような予防・準備体制が維持されることを望む
- 利用者が安心して港へ行けることが有り難い
- 災害の可能性も高まっている状況の中で、多くの人が集まる場での安全管理の重要性は更に増していくと思われるため、引き続きの体制強化が望まれる
- 災害時における職員・周辺地域との連携が取られていることは評価できる。災害マニュアルも適正に策定されている
- 利用者に対する「緊急時の行動方法」などを、今後整備して欲しい
- 外国人の対応をより進めて欲しい